

一〇七三番

玉垂たまだれのをす小簾まとほの間通し  
一人居ひとりゐて 見るみしるしな  
き 夕月夜ゆふづくよかも

一〇七四番

春日山かすがやま おして照てらせる この月つきは 妹いもが庭にはにも  
さやけかりけり